

新成人のホッペ



ハタチのホンネ。

今どきの若者は、自分たちの未来をどのように考えているのでしょうか。今年の成人式実行委員会のメンバー5人と一緒に座談会を開き、彼らのホンネを聞きました。

大人の階段を登り始めたみなさん。成人式を終えて！

「ご成人おめでとうございませ。成人式を振り返り、今の心境は？」

裕人 あっという間でしたね。みんなから推薦されて実行委員長の大役に抜擢された時は、成功させようという責任感が湧いてきたのを思い出します。

美咲 中学の友達と久々に会えたことが嬉しくて、抱き合ってた泣きました。

恵里花 司会を務めました。あの緊張感は忘れられません。

尚貴 実行委員になるとは思っていなかったです。声を駆けられた時は、「やるしかない」と決意したのを覚えています。

朋花 人前が出る機会がないので、貴重な経験ができました。終えた時は、充実感が満たされましたね。式典後の同級会で上郷中学校の時に作ったタイムカプセルを開けました。「20歳の自分へ」というメッセージが書かれてました。

美咲 何て書いてあったの？

朋花 なぜか自分の事ではなく友達のことを書いていました。

恵里花 私も懐かしんで見ましたね。「ちゃんと働いてるの？」と書いてました。思わず「はい」と勢いよく答えました。

全員 おー。さすが！



20歳はお酒やたばこなど。新たに権利が与えられます

「大人になった実感は？」

恵里花 特に実感はないですが、年を取ったなと思います。

全員 えーっ(驚)。

美咲 私も実感が湧かないです。お酒やたばこ、選挙権が与えられたことが、まだ身近に感じられません。みんなはもう選挙で投票したことありますか？

裕人 あるよ。

恵里花 朋花 ないです。

美咲 私は19歳だからまだです。

尚貴 仕事と重なって投票できなかったです。期日前投票の制度もいまいわからなくて…。

裕人 俺は期日前投票したよ。今度、教えてあげるよ。

尚貴 ありがとう。

20歳の若者は、仕事もプライベートも充実！

現在の職業は？

裕人 昨年の4月から遠野消防署に勤務しています。

美咲 遠野市役所の市民課で働



資格を取得して、小さい頃からの夢を実現させたい！

して仕事モードに切り替えています。その方が、スムーズに仕事をこなせることに気付いたからです。朝活おすすめてですよ。全員 なるほど！

恵里花 私はお客様の手元に届く製品を丁寧に扱うよう細心の注意を払っています。集中心が必要で、時々話しかけられていることに気付かないほど、夢中で加工しています。

尚貴 以前の職場では、お客様が求めている商品を素早く提供することに心掛けてきました。同期が次々と次のステップを踏んでいく中、僕はなかなか前に進めず悩みましたが、今の選択が次へ繋がると信じ、自分なりに突き進んでいきたいです。

「小さい頃は、どんな仕事に憧れていましたか？」

朋花 ペット介護士やトリマーなど、動物に関わる仕事に憧れましたね。仕事の合間を縫いながら、その資格を取得して、将来はペット介護士になることが夢です。

新成人×新成人

新成人は遠野市をどんな風に感じ取っているのか。

「遠野のどんなところが好きですか？」

恵里花 空気がきれいで、夜になると静かなところ。都会に出ると、人込みで疲れてしまうんですよね。

美咲 その気持ち私も分かります。遠野は他のまちと比べるとすごく自然が多くて眺めが良いです。遠野物語や観光の建物など誇れるヒトやモノがたくさんありますよね。

裕人 周りの人がとても親切です。地域とのつながりが強いまちだと感じています。

「市外など都会へ住む憧れはありますか？」

尚貴 ありません。遠野が大好きです。

「これだー!」と思えるような仕事に就きたい!



「将来、遠野はどんなまちになってほしいですか？」

恵里花 自然が溢れる豊かな景観は失くしてほしくないです。裕人 専門学校や大学など、教育の場を広げて欲しいです。そのためには、交通網の整備も必要になるのではないのでしょうか。

裕人 俺もありません。夢をかなえられた場所ですから。朋花 友人などの話を聞くと憧れます。市外で一人暮らしをしてみたいですね。恵里花 私も市外で仕事をしてみたいです。まずは、盛岡市からですかね。就職先が多いことや給与の面、遊び場所が豊富なところは遠野にはないですね。美咲 自分の居場所や可能性を広げるためなら、市外で暮らすことも素晴らしいことだよな。全員 そうだね! 尚貴 もし一人暮らしをするならば、親に頼ることなく自分のお金で生活していくべきだと思います。一人前になるためには市外で生活することも、一つの選択肢なのかもしれませんね。全員 おー。パチパチ(拍手)。尚貴 大人になりました(照)

ホンネから見える事

新成人の皆さんは、夢や希望を持ちながら、少しずつ大人の階段を登り始めました。仕事への意気込みや夢などを語り合うその瞳はきらきらと輝き、若々しいエネルギーが感じられました。悩みや迷いを感じながらも、次のステップへ羽ばたこうとする仲間間の姿を応援する温かいまなざしもありました。

彼らは、遠野の良さを理解し、いつか夢をかなえたいと前を向いています。しかし、就職先が少ないため選択の幅が狭いことや大学などの教育環境の場がないことなど、現実には直面し他市に憧れを抱いてしまうことも事実です。若者が夢や希望をかなえる場所の選択肢に「ふるさと遠野」があってほしい。彼らが住み続けたいと思えるまちづくりが必要なのかもしれません。